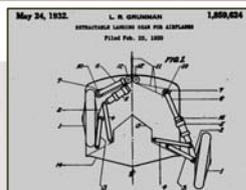


～グラマン J4F ウィジョン 飛行艇



[↑特許図面]



[J3F グースとー]

本機は、1940年に初飛行した、グラマンの小型飛行艇です。グラマン社創業のきっかけになった特許発明(US1859624:「ネズ爺&ハテナヤンの特許探偵団 Vol.6」及び google patent 参照のこと)の技術を使い、胴体側にランディングギアを引き込み可能としています。グラマン社の前作 J3F グースと比較すると、一回り小さい機体であることがわかります。型式番号 J4F を説明すると、米国海軍採用の雑用機(Utility…なぜか J)において、グラマン社製(F)の 4 番目の機体、ということになります。飛行艇全般に言えることですが、この機種は、対潜水艦といった勇ましい戦闘より、海上に不時着した飛行機の乗員を助けるための地味な救難任務がメインでした。模型は、沿岸警備隊塗装として制作しましたが、国籍マークがなく、銀色と黄色のツートン塗装がなされた本機は米海軍機や海兵隊機の派手さはないものの、海上で助けを待つ遭難者からすれば、下面に機体番号を大きく描かれたこの機体を見た時には、地獄で仏だったに違いありません。

【模型について】

チェコのパブラ(Pavla)製 1/72 の簡易インジェクションキットです。このメーカー、残念ながら一時期の元気がなくなり古いキットの再販が望めなくなっているため、現在、このキットは入手困難かもしれません。なお、英国海軍が使用したタイプがゴスリング飛行艇で、エアフィックスの佳作キットがあります。(中川裕幸 2021年3月, 2023年4月改定)